

会議記録（1）

会議名称	令和3年度北本市行政改革推進委員会（第1日目）
開会及び閉会日時	令和3年9月30日（木） 午前9時30分から午前11時30分まで
開催場所	庁舎1Fホール
議長氏名	委員長：下垣彰
出席委員(者)氏名	土屋雄一、秋葉清、新井康夫、金網幾代、諏訪千加子、根岸京子 市長 三宮幸雄、行政経営部長 新井信弘、財政課長 長嶋太一
欠席委員(者)氏名	なし
事務局職員職氏名	行政経営課長：佐藤慎也 同課事務管理担当GL：高橋弘 同課企画調整担当主任：鈴木裕大
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長挨拶 3 委嘱状交付 4 委員長挨拶 5 委員紹介 6 事務事業の見直しについて（諮問） 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 財政状況について (2) 委員会概要及び今後の日程について (3) 令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の報告 8 その他 9 閉会
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 北本市行政改革推進委員会 名簿 3 北本市財政計画(令和3年度～令和5年度)【抜粋】 4 事務事業評価とは 5 事務事業の総点検の概要と結果 6 諮問事業 7 外部評価手順 8 開催スケジュール 9 令和2年度答申への対応状況

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会 ただいまより開会する。はじめに本委員会は、令和3年9月1日より新たな任期が始まることから、今回、新規及び継続して委員の職を引受けていただく皆様に、委嘱をさせていただきます。</p>
市長	<p>2 市長挨拶</p>
事務局	<p>3 委嘱状交付 委嘱状の交付に移る。委嘱期間については、令和3年9月1日から令和5年8月31日となっている。 委員長については、市長が指名することとなっており、事前に下垣委員を指名している。 副委員長については、委員長が指名することとなっており、事前に委員長より土屋委員を指名する旨いただいているので、御了承願う。 併せて、本委員会の開催については、本日6名の委員が参加されており、1名の委員の方は遅れて参加する予定であり、有効に開催されることを報告する。</p>
委員長	<p>4 委員長挨拶</p>
委員一同	<p>5 委員紹介</p>
事務局	<p>続いて事務局の紹介をする。 【事務局紹介】</p>
事務局	<p>6 事務事業の見直しについて（諮問） それでは、事務事業の見直しについて諮問に移る。</p>
市長	<p>【諮問】 諮問内容、事務事業の見直しについて。 ・難病等手術見舞金支給事業 ・市民文芸誌「むくろじ」発行事業 ・北本市健康長寿ウォーキング事業 ・就労支援事業 以上。</p>

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p>議事の前に、皆様に了解いただきたい事項について申し上げます。北本市の附属機関の会議は、北本市情報公開条例第21条の規定により原則公開となる。</p> <p>会議の中で、個人情報や法人の秘密事項等の非公開情報が出てくる場合は、会議を非公開とすることもできるが、当委員会においては、現在のところ、そのようなおそれもないと思われるので、原則どおり公開ということによいか。</p>
委員一同	<p>【了解】</p>
事務局	<p>本日、傍聴の希望はないので、このまま議事に移る。</p> <p>規則第5条1項で、「委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。」となっており、本委員会については、下垣委員長に進行をお願いします。</p>
委員長	<p>7 議事</p> <p>それでは、議事に入る。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(1)財政状況については、財政課長が説明することになっているが、公務で後ほど参加することになったため、繰り下げて、先に(2)委員会概要及び今後の日程について、説明する。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p> <p>説明は以上となるが、何か質問等はあるか。</p>
委員長	<p>外部評価手順について、事業説明は5分でいいが、質疑は15分、議論及び評価を45分という時間配分とする。各委員が記入したチェックシートを模造紙に貼る。記入については、シャープペンシルだと見えにくいので、サインペンで記入する。このような形で進めていくので宜しくお願いする。</p>
事務局	<p>了解した。模造紙等については事務局の方で用意させていただく。また質疑の際には、事務事業の総点検でも使用した事務事業評価シートを事前に見ていただいて、議論を深めて</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>いただきたいと考えている。</p> <p>事務事業の総点検について、500事業から185事業を選択し、その185事業の費用総額は、約15億円。その中で、今回諮問を受けた金額は、廃止が約97万円、見直しが約410万円。職員のみなさんで点検されたというところは、いいと思うが、私は経営コンサルタントとして、企業の改善改革などを行っているので、もっといろんな見方で対策をする余地があると考えている。500万円くらいの事業を諮問対象としたことについては、まだまだであるという気持ちを抱いている。ただ、私自身が評価した訳ではないので、私からは以上である。</p>
事務局	<p>令和3年度事務事業の総点検の点検結果については、令和4年度の予算編成の判断材料として、全庁的に周知している。今回諮問した事業については、その点検で「廃止」「民間等で実施」及び「見直しであっても将来的に廃止、段階的に縮小等」と区分された事業で、過去に諮問し、答申を受けたものを除いた事業のうち、市の経費節減効果額が大きい事業、内部事務ではなく市民への給付等を対象とした事業、見直しに着手していない事業の中から基本的に経費の大きい事業を対象としている。なお、対象とする事業数についても開催日数など物理的な制約があることから今年度は4事業となった。</p> <p>さらに補足として、内部事務については、市役所内部で見直していき、行政改革推進委員会では、市民への影響が大きい事業を諮問すべきという考えから、今回の事業が選択され、このような金額となっている。</p> <p>ちょうど10年前、リーマンショックの頃、当時民主党政権下で行われていた事業仕分けを当市でも実施した。そして10年経って、2021年となり、前例踏襲の漫然と継続している事業を見直すために、今回の事務事業の総点検を実施した。ただ今回は、幅広い事業について、時間も人も限られた中での実施だったため、次年度以降については、例えば令和4年度は総務部、令和5年度は行政経営部など部毎にもう少し深めて点検することで、さらに圧縮していくことができるのではないかと考えている。</p>

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p>以上から今回の諮問対象事業となったので御理解いただきたい。</p> <p>他に質問はあるか。無ければ、次の議事に移る。なお、財政課長が公務で出席が遅れているので、(3)令和2元年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の報告を先にさせていただきます。</p>
委員長	事務局より説明をお願いします。
事務局	【答申への対応報告】
委員長	委員の皆さんから何か質問等はあるか。
委員	<p>大気中放射線測定機については、市が持っていると言われているが、給食提供食材の放射能測定機については、国から延長して借りているという話だったと思うが、いつまでの延長なのか聞きたい。</p>
事務局	確認しないと正確なことは言えないが、特に期限を定めずにそのまま置いていたはずである。
委員	借用していることに変わりはないか。
事務局	変わりない。正確なことは確認の上、改めて報告する。
委員長	これは多分把握してないと思うが、放射線測定や給食の放射能測定の事業は、事業費はゼロであるが、職員の時間を費やしており、事業を廃止することで、どの程度の時間が効率化されたのか検証しているか。
事務局	事務事業評価シートにて、課における業務割合を設定し、その事業に係る人件費を算出しているため、その分が削減されたと認識している。
委員長	どのくらいの時間が削減できたかということについて、一応推計できるというのは理解したが、そこから先の話とし

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p>て、効率化された時間は、何に使っているのか。人件費は固定費なので、削減された分は、付加価値の高い仕事、未来に向けて備えるようなことを考えていくべき。そういう仕事は定量的、定型的に把握できないものだが、先を読んだ事業を提案するなどといったことを職員のみなさんには考えていただきたい。</p> <p>肝に銘じさせていただく。その上で、一つは時間外労働が削減されたと考えている。ただ先ほど委員長がおっしゃったように、削減された時間を本当にやるべき仕事に振り分けることができたのかどうかについて改めて確認していきたいと思う。</p>
委員長	<p>振り返りをして、こういうことができるようになったとか、そういう成果があればぜひ教えていただきたい。</p>
委員長	<p>他に質問等はあるか。</p>
委員	<p>0歳児おむつ無料化事業について、廃止で700万円の削減という説明があったが、資料をみると新たに子育て支援事業を令和3年4月から実施するとあり、これは他の事業が増えたということか。</p>
事務局	<p>こども商品券事業という名称で当初取り扱っていたが、最終的に子育て応援事業という名称で新たな事業がスタートしている。</p>
委員長	<p>この件については、委員会の中でもかなり議論して、足掛け2年議論している。やめるという議論だったが、やはり子育てを支援するのは大事だということで、1年目は見直しを求め、2年目に、今まではおむつ券を配布するという形の事業だったのを、こども商品券を配布するという形にして、こどもが生まれた家庭に使いやすい形にした。1回で配るのではなく、成長に合わせて何回かに分けて配ることで、子育てを継続的に支援していくという形に変えるべきという答申をした。結果、今までの事業がなくなり、その分の事業費が削減された訳ではなく、他の事業の形に変わっているというこ</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>とである。</p> <p>0歳児おむつ無料化事業だけの事業費で整理するのではなく、新たにリリースされた子育て支援事業と全体として比較して、事業費が増えているのか減っているのか、その辺が触れられてなかったのが、表としてちょっと分かりにくいと感じた。</p>
事務局	書き方を整理させていただく。
委員長	他に質問等あるか。無いようなので、議事(1)財政状況の説明をお願いします。
財政課長	【財政状況について】
委員長	委員の皆さん、質問等はあるか。
委員	市長から話のあったふるさと納税について、工夫されているとのことだったが、具体的にはどのようなことをされたのか。
財政課長	<p>ふるさと納税に関しては、返礼品を充実させた。平成28年頃、返礼品目当てに寄付をする風潮が大々的に報道され、高額納税者だけが得をするような制度はあまり良くないという思いが担当としてあったが、税の控除ばかりが増えて寄付が少ない状況のままではいけないという話になり、ある程度地元の産品を活用して、北本市の名前を外に出していくという方向に転換した。そのような中、グリコさんのほか、英國屋さんの子会社が市内にあり、英國屋さんについては社長さんからお声掛けいただき、高額納税者は肉やお米を貰い過ぎても腐らせてしまうので、モノで考えていく必要があるのではないかと提案いただき、スーツの仕立券を採用したところ、徐々に寄付額が増えていった。それまではあまりお金をかけないで、職員の手だけでやっていたが、ある程度寄付が入ってくる状況になったので、昨年からの寄付額の何割かを広告費に充ててさらに上を目指そうという考え方に変えた。結果、昨年は県内1位ということになった。</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	他に意見はないか。では私から、公債費の推計について、令和6～8年度、19～20億円ぐらいで推移しているが、これに公共施設の統廃合に係る費用は見込んでいるのか。
財政課長	令和5年、6年度以降については、加味していない。
委員長	では、公共施設や先ほど話に出たごみ処理施設を入れると公債費はさらに増えるということか。
財政課長	そのとおり。公共施設の統廃合を積極的に進めれば、その分公債費は増える。ゴミ処理施設に関しては、一部事務組合で建設が行われ、借入も一部事務組合で行うので、公債費とは別に、負担金という形でお金が出ていくことになる。
委員長	では、公債費は推計より跳ね上がっていくという可能性が大きいということか。どのくらいになるのか予測がつかないが。
財政課長	投資の方も抑制を考えないといけない状況になっている。来年度新中央保育所を建設するため、借入が増額となるし、今年度も西小学校の給食室を建て替えた。その借入も、工事が終わった後にある。総額で10億強である。その後も再編を進め、施設を適正に管理運営するために借入が必要となる。総額を道路、下水、公園等を含めた中で、全体でどのくらい借入れるのかを調整しながら進めていく必要がある。
委員長	それ以外のことで、私もよく分からないが、区画整理事業で新しく家を買った人がでてくると、その分は市の収入になるのか。
財政課長	区画整理をして、保留地が生み出され、それを売却したときには、市の収入となる。
委員	国の国債が1000兆円を超えて、右肩上がりが増えていく中、北本市は市債の残高が減ってきているということか。
財政課長	現在は、借入を押さえている状況なので、令和4年度で、

発言者	発言内容・決定事項
委員	平成28年度と比べると20億円くらい減っている。 これ以外にはないのか。
財政課長	これ以外には、久保土地区画整理事業の借入がある。
委員	久保は、史跡が出た関係で止まっていると聞いているが、再開の見込みはあるのか。道路も止まっているようだが、そのあたりはどのようになっているのか。
財政課長	私の所掌ではないので、直接申し上げてよいか分からないが、文化財保護のセクションと区画整理のセクションが話し合った後に、市長が文化財の保護を優先させるという選択をしたので、今後、史跡を残しながら、区画整理をどのように進めていくか検討して、市民に説明した上で、進めていくということになる。
委員	もう一つ、今回答申された4事業について、北本市の状況から金額的事業を考えると本当にこれで大丈夫かと思うところがある。受けた諮問についての見解を出していくのが我々委員の役割だと思うが、今後限られた財政の中で、社会保障の分野について相当大鉈を振るわないと、見合った歳入に対する歳出にならなのではないかと思うがどうか。
事務局	基本的には諮問に対する答申ということになるが、それぞれの見解について、委員会としての答申の中で、はじめに又は結びに、行政改革推進委員会の意見として付与することは可能であると考えている。
委員長	特別会計も含めて、市の財政状況、これから先の見通し、そういうのは見える形で協議していただきたいし、それを見た上で、市民のいろんな人と議論していく。先ほど話に出た公共施設の統廃合とか、あるいはその中で余った自然とか土地とかはどうかどう推移していくかどう使っていくか。財政を含めて、考えていく必要がある、あるいは議論していく必要がある。議会でもう侃侃諤諤やっていると思うが、見えるということが大事なので、まず状況を共有した上で議論ができるよ

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>うにしてほしいというのが私からの意見である。</p> <p>私は今年度、議会モニターでモニタリングをしているが、久保区画整理の件もごみ処理施設の件も議会でかなり議論している。ゴミ処理施設については、今のままだと百何十億の方向性になるのかなど。他の議員さんでは、そういった処理ではなくて、脱炭素化の方向性でやればもっと少なくなるのではないかという意見もでてきているようだ。ただ、北本市だけでやるなら自分たちの設計でよいが、2市1町でやるっていうことで、各市町の考えがあるので、そんなことはできないと私は感じている。市長が2市1町の集合体でやるといっている以上、今の流れの中でやるしかないと思う。</p> <p>それと行政改革については、私は初回からずっと携わっているが、10万円単位の事業だと、何か行政改革ではないような気がする。ゴミ処理や公共施設と比較して考えると、もっと金額の大きなものがあるのではないかと感じる。</p>
委員長	<p>目的に必要な額から考えていくというような発想も必要ではないか。しかし、今の委員会の仕組みの中では、諮問を受けた事業について審議していく、それ以上のところになると意見表明ということになる。</p>
委員長	<p>他に何か意見等あるか。</p>
委員	<p>何かを決めるには、全体像が見えないと、小さいことからなく全体を見てからでないといけないと思う。それと、やるっていうことはいくらでもできるが、解消するっていうときに、これはどこの組織も同じだと思うが、なかなか結果を得られない状況である。今回この事業の見直しについて、いろんな意見交換をして、納税者が市民側の立場で決めて行くのが一番重要だと感じた。</p>
委員長	<p>他に何か意見等あるか。</p>
委員	<p>人口の推移をみて驚いたのだが、市として人口を増やす具体的な策などはあるのか。</p>

発言者	発言内容・決定事項
財政課長	<p>市の10年計画である総合振興計画の中に人口減少に対応するためのリーディングプロジェクトを2本あげている。若者の移住・定住・交流促進プロジェクト。それから目指せ日本一子育て応援都市プロジェクト。この取組を縦割りではなく部署間連携して進めている。具体的には、シティプロモーションとして北本市の地域資源、いいところをPRして、若い人たちに知ってもらい、来てもらい、いずれは住んでもらうという取組である。あと子育て応援都市プロジェクトとして、行政改革推進委員会での答申を元に取組を変えて、オムツをただ配るだけではなく、お金を少し減らして、検診受診時にこども商品券を配布し、こどもの健診受診率の向上を図る取組に転換している。</p>
事務局	<p>財政課長から総合振興計画の話が出たので補足するが、現在、新総合振興計画の策定中であり、パブリックコメントを10月12日まで受付しているところである。10年間の構想を前期と後期に分けて、今回後期計画の策定中だが、そのうちのリーディングプロジェクトで、コロナ時代に対応した食住近接、女性の就労支援、その他、企業版ふるさと納税といったものも取り入れる、そういった構想を持って取り組んでいる次第である。人口減少については、日本全国的な問題なので、決め手となる政策を打ち出すことはなかなか難しいが、少しずつ試しながら進めている状況である。</p>
委員長	<p>市長から世帯数の増減に関する資料を見せてもらったが、移住・定住・交流促進プロジェクトによる成果指標はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>リーディングプロジェクトの成果指標は現在ないが、今後作成していく予定である。シティープロモーション担当からの報告だと、このプロジェクトで2世帯入ってきていると聞いている。</p>
委員長	<p>トータルとしてどれくらいを目標とするのか指標を定めた方がいいと思う。北本に住んでくれる人が増えてくれればいい訳で、北本で家を買った北本の姿にあった指標にするべき。あと、総合振興計画のリーディングプロジェクトで若者</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>とか子育てとかいうことであるが、我々のようなシニア世代もまだまだ働けるので、高齢になっても働けるまちづくりというのもある意味正しいと思う。まあそれは今パブリックコメントをやっているということだから、私がコメントすればいいと思うが。ということで皆さんも意見があれば、どんどんパブリックコメントしていただければと思う。</p> <p>他に意見はあるか。無ければ、次回の予定を確認して終了したいと思う。</p>
事務局	<p>8 その他 【次回予定説明】</p> <p>9 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和 3 年 10 月 11 日 委員長

下垣 彰